

不正引出しに関するよくあるご質問

質問 1 : 5 月 15 日の海外発行カードによる不正取引について、イーネット ATM も利用されていたとの報道がありますが、引き出された現金はイーネットが負担するのでしょうか？

回答 1 : いいえ、当社が負担することはありません。

海外発行カードによる取引は、カードに書き込まれている情報と利用者が入力した暗証番号をカード発行元に送信し、カード発行元から取引を許可するという情報が戻ってきた場合にのみ出金を行う仕組みとなっており、送信したカード情報と暗証番号が正しいことの判定はカード発行元が行っているため、引き出された現金もその発行元等が負担いたします。

このため、これら一連の取引で引き出された現金の負担は当社ではありません。

質問 2 : 今回の不正取引に関して、イーネット ATM に問題があったのではないのでしょうか？

回答 2 : 今回使用された海外発行カードは当社 ATM から不正に取得されたり、当社 ATM の原因で偽造されたものではありません。また、当社は海外発行カードの取扱いにあたり、国際的なセキュリティ基準（PCIDSS※）の認定を取得しており、海外発行カードを取り扱うにあたっての万全な準備を行ってご利用いただくようにしております。

※ Payment Card Industry Data Security Standards

質問 3 : 今回の不正取引に使用されたカードは磁気ストライプカードとのことですが、イーネット ATM は IC カードへの対応ができていないのでしょうか？

回答 3 : 海外発行カードが取り扱える当社 ATM は最新型の ATM に限定しており、既に最新型 ATM の全台で IC カードへの対応をしております。

また、国内発行カード取引を扱う当社 ATM は、旧型 ATM を含め全台 IC カードへ対応済です。

IC カードは偽造も困難なため、IC のみのカードを取り扱うことで今回の不正取引は行えなかったと考えておりますが、現在でも多くの金融機関やカード会社が磁気ストライプカードを発行しており、これらのカードを持つ方々の利便性を考慮して、磁気ストライプのみのカードでの取引を可能としております。

質問 4：不正取引に対する対策は何か行っておりますか？

回答 4：不正取引への対策は、カード発行元が行うことが原則となっています。

しかし、今回の事案を踏まえて、当社でも様々な対策を行うと共に、引き続きセキュリティ対策の強化に努めてまいります。また、警察とも連携し、全面的な捜査協力を継続してまいります。

以上